

## 取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、経営における透明性の確保と社外からの監視機能の強化、市場の変化に即応できる経営体制の確立を柱として、事業の継続的な発展と企業価値の向上を図るため、2015年11月に「コーポレート・ガバナンスに関する基本方針」を制定・公表しており、随時内容を更新しています。

【コーポレート・ガバナンスに関する基本方針】 <https://www.meg-snow.com/ir/governance/>

当社では、当該基本方針に基づき、取締役会の実効性を確保し向上させるため、取締役の自己評価に基づく取締役会の評価を2015年度以降毎年実施しております。

今般、2025年度の「取締役会の実効性に関する評価」を実施しましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

### 記

#### 1. 実施方法

- (1) 実施時期 2026年2月26日～2026年3月25日
- (2) 対象者 監査等委員である取締役を含む全取締役（社外取締役4名を含む全10名）
- (3) 対象期間 2025年4月～2026年2月までに開催された取締役会
- (4) 評価方法 ①無記名式アンケートによる自己評価  
②取締役会事務局による取締役への個別インタビュー
- (5) アンケートの内容

	評価項目	質問内容
①	取締役会の構成	取締役会の人数、社外役員と社内役員の比率、取締役の多様性
②	取締役会の運営	資料の内容・分量・わかりやすさ、事前の検討時間、議題の数・内容、議事進行、開催頻度・時間、充実した議論、意見交換会
③	自己評価	自身の発言や審議への参画
④	取締役会の役割・責務	取締役会の役割、リスク管理と果敢な経営判断、監督、グループ会社のガバナンス、サステナビリティ課題、取締役の知識習得・更新機会
⑤	ステークホルダーとの関係	ステークホルダーおよび非財務情報の視点での議論
⑥	総括	取締役会の機能、議論すべき項目
⑦	諮問委員会	指名諮問委員会・報酬諮問委員会の議論や審議内容

※アンケートの設問は、評価の継続性の観点から、基本的な質問項目は毎回同じとしておりますが、評価の質を高めるため、質問項目の見直しを都度行なっています。

※また、自由記入欄を多く設け、アンケート項目にとらわれず多様な意見や提言の収集に努めています。

## 2. 2025 年度取締役会実効性評価結果に係る評価結果の概要

当社取締役会は、自己評価の分析の結果、2025 年度における取締役会の実効性は適切に確保されていると判断しました。

## 3. 2024 年度（前回）の取締役会実効性評価において抽出された課題への対応

2025 年度の評価で抽出された課題に対しては、改善に向けた取組みを執行し、その結果の検証を行なうことで、継続的にガバナンスの改善を図っています。

- (1) 取締役会の構成・多様性に係る議論の充実  
指名諮問委員会において、中長期の経営戦略を見据えた取締役会の最適な構成について検討を重ねるとともに、女性取締役候補の育成・登用計画、および後継者計画の妥当性について審議を行いました。
- (2) 審議の活性化および経営戦略に係る議論の充実に向けた取組みの継続  
審議時間を創出するため、取締役会への付議・報告事項の基準見直しや付議時期の分散を実施しました。また、重要案件については取締役会付議前に「意見交換会」を開催し、審議の活性化に努めました。
- (3) グループガバナンスに係る議論の充実  
四半期ごとのグループ会社業績等の報告を継続して実施するとともに、グループ経営会議やグループ社長会における情報共有体制を強化しました。また、グループ再編などの重要案件については、適時適切に取締役会での審議・報告を行いました。
- (4) サステナビリティ課題への取組み  
グループサステナビリティ委員会からの定期的な活動報告を受け、重要課題の進捗状況や取り組みの方向性について議論を実施しました。
- (5) ステークホルダーや非財務情報の視点をくみとった議論の充実  
投資家等のステークホルダーの意見、非財務情報が有する重要リスクや機会を踏まえ、中長期的な企業価値向上に資する議論を行いました。

## 4. 今後に向けた取組み

今回の 2025 年度取締役会実効性評価の結果、取締役会が今後も引き続き取り組んでいくべき主な課題として以下の4点が認識されました。

- (1) 取締役会構成の多様性の強化
- (2) 重要議題に関する事前検討体制の強化
- (3) 取締役会の議論の更なる活性化
- (4) サステナビリティおよび非財務課題の議論充実

当社取締役会は、今般の評価結果の分析および議論を通じて認識された課題の解決と、取締役の意見等を踏まえた取締役会運営の見直しを図り、会社の持続的な成長と企業価値の向上を実現していくために、取締役会の実効性の向上に今後も取り組んでいきます。

以上